2023年10･11･12月号 №100

別刷１

機関紙［つむぐ］HISTORY 100号記念

16年の歩み

地域のニーズを事業に！

2007年8月1日にプレ創刊号を発行して16年の歳月がたち、ついに100号をむかえることができました。つむぎ福祉会はその間社会福祉情勢の変化や地域のニーズに応えながら、保育園の開園、若者支援事業の開始、障がいの重度化や高齢化に対応した事業の開始など大きく成長していきました。

機関紙「つむぐ」の紙面を通して、つむぎ福祉会の歴史を振り返ってみたいと思います。

2008年4月

［つむぐ］創刊

つむぎ新春コンサート つむぎまつり開催

過去から現在そして未来へ 思いをつなぎ さらなる発展を！

「ゆうプラス」を振り返って

「ゆうプラス」（2008年4月から2009年9月）

記事のなかでは事業の実施状況や係る職員及び利用者のことや、少しずつ社会へと旅立つ青年たちのことがその時々のトピックスとして書かれていて、青年たちの歩みと「青年の自立支援センターゆう」「ゆうプラス」両事業の歩みを知りました。

職員として、諸先輩がたの当時の青年たちへの思いと実践の状況を知り、目の前の課題に取組んでいく思いや工夫を感じました。改めて当時の取組があり今があること、形は変われども今その事業を引き継いでいること。過去から今へのつながりを改めて感じました。直接話はしたことがない諸先輩がたの思いを理解し、引き継いでこれからもつむぎ福祉会の一員としてさらなる発展に向けて頑張る気持ちになりました。

東大阪事業所　石田泰二（2010年入職）

青年の自立支援事業開始

待機児童ワースト１ 西区に認可保育園を！

保育分野では待機児があふれていた創刊時の頃と、施設数の急増と少子化の進行によって定員割れが深刻化してきている現在では、状況が大きく変化しています。その時々の世の中の大きな流れに対して、どう感じ、どう行動してきたのか、一歩ずつの歩みの結果が今ここにいる私たちとつながっています。機関紙「つむぐ」の中にそれらがしっかりと記録されていることは、とても貴重な財産です。これからも、法人職員として考えたことを、自分の言葉で表現していきたいと思います。

ポプラ保育園　山田　和美（2010年入職）

時代の変化を自分のことばで機関紙「つむぐ」に記録

「おおさかの福祉事情」（2008年4月から2010年）

2015年つむぎハウス開所 高齢化重度化に対応して

障害・青年・児童 多分野の相談支援事業を！

ウラ面もあるわたよ♪
ぜひ見てね☆

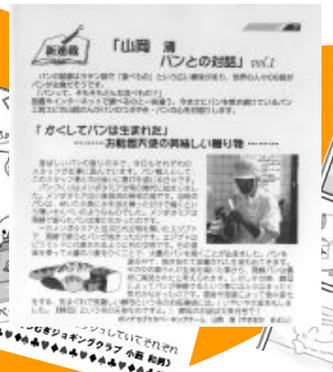
つむぎの仲間たち

平和について考える

平和についての特集を
見開きで沢山
取り組みました。

たくさんの人に支えられて！

たくさんの方々に
コラムを書いて頂きました。
四コマ漫画や間違い探しには多くのファンが！



コロナを経験して！

コロナ禍でもできることや
感染対策報告や作品展を開催し、
みんなでコロナを乗り切る
紙面づくりをしました。

これから…

「オープンダイアローグ」や
「すきつながり」など、さまざまなページを
通して皆さんと一緒につむいでいける機関紙に
したいと思います。

機関紙「つむぐ」 を通して、福祉職員として仕事をしている中で疑問に感じることを取り上げ、つむぎ福祉会の視点で発信してきました。

障がい・保育・青年・高齢者と多様な事業を行っている法人として、これからも積極的な問題提起をしていきたいと思います。そして、法人内にとどまらず、多くの読者とともに「機関紙つむぐ」を成長させていきたいと思います。

編集責任者　中谷路子

閲覧期限は
2023年12月末
までわたよ☆

下記のアドレスまたは横のQRコードを読み取って頂くと機関紙「つむぐ」のバックナンバーがみれます。

https://drive.google.com/drive/folders/1yfxmM3vAoixg9Un6baLrzJEcaHxiHLqA?usp=sharing

形を変え進化し続ける機関紙「つむぐ」

**「Cotton SHURIの
Colorful Music
ぶらぶらしてますねん」
（2008年４月から2011年）**

創刊から数年間、おすすめのスポットやCDを紹介するコラムを書かせてもらっていたのが懐かしい思い出です。CD紹介で書いていたチキンガーリックステーキが９年後、本当に新春コンサートに出演するとは思っていませんでした。

形を変えて進化を続けるつむぐニュース、今後も楽しいことや考えさせられること、いろいろなテーマで紙面を彩り、２００号、３００号と続けばいいなと思います。

生活介護カカラ　西平守利（2006年入職）